

2025年(令和7年)2月1日



# さがみはら市議会だより

## No.228

編集・発行：相模原市議会 電話 042 (769) 9803  
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号  
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

※無断転載・転用は  
お断りします。



相模原市は令和6年11月20日に  
市制施行70周年を迎えたよ。  
今号の特集は、  
70年前に議会の事務局職員だった方への  
インタビュー第2弾！  
詳しくは2面を見てね！

さがみん



### TOPICS

	主な議案の概要 【特集】70年前の相模原市議会は こうだった！パート2	2
	代表質問 7会派により行われた代表質問・個人質疑と 市の答弁を分かりやすく紹介	3
	一般質問 市政全般に対して行われた質問と市の答弁を 分かりやすく紹介	4 5 6
	委員会の審査 主な議案の審議結果 定例会議紹介ポスターデザインが決定	7
	常任委員会活動レポート ハラスメント防止研修を実施	8

### 12月定例会議

## 2つの学校給食センターの 整備・運営に係る事業契約や 職員定数条例の一部改正など 36件の議案を可決・同意

12月定例会議では、中学校給食の全員喫食の早期実現と持続可能な給食運営の実現に向けて整備することとした、(仮称)北部学校給食センター及び(仮称)南部学校給食センターの整備や開業準備、維持管理、運営等に係る事業契約を締結する議案のほか、職員の定数を合計420人増員する職員定数条例の一部を改正する条例などの議案が提出され、本会議や各常任委員会で質疑等がなされました。

そのほか、議員提出議案として、市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例など2件が提出されました。



その他詳細は、市議会ホームページを  
ご覧ください。

### 3月定例会議のお知らせ

3月定例会議の予定は、次のとおりです。

本会議・委員会は、午前9時30分から開会する予定です。

また、予算特別委員会の各分科会は、それぞれ同日の委員会終了後に開会される予定です。

ただし、各委員会の審査の状況により、翌日以降の開会となることがあります。

2月 10日(月)	議会運営委員会
17日(月)	本会議(提案説明)
26日(水)	本会議(代表質問・個人質疑)
27日(木)	本会議(代表質問・個人質疑) (本会議終了後) 予算特別委員会 総務委員会
3月 3日(月)	総務委員会 予算特別委員会総務分科会
4日(火)	こども文教委員会 予算特別委員会こども文教分科会
5日(水)	市民環境経済委員会 予算特別委員会市民環境経済分科会

6日(木)	建設委員会 予算特別委員会建設分科会
7日(金)	民生委員会 予算特別委員会民生分科会
18日(火)	本会議(一般質問)
19日(水)	本会議(一般質問)
21日(金)	本会議(一般質問) (本会議終了後) 予算特別委員会
25日(火)	本会議(委員長報告、採決) (本会議終了後) 議会運営委員会



### 相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・フェイスブック・インスタグラムでもご覧になれます。  
本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。  
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!

12月定例会議

主な議案の概要

職員定数条例の一部改正  
職員定数の増員

新たな行政課題に的確に対応し、効果的な行政運営を推進するため、職員の定数に係る規定の改正を行う。

附属機関の設置に関する条例及び非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

子どものいじめに関する再調査委員会の規定の追加、子どものいじめに関する調査委員会の規定の改正

子どものいじめに関する再調査委員会の設置並びに同委員会の委員の報酬及び費用弁償の額に係る規定を追加する。また、子どものいじめに関する調査委員会の委員の報酬の額に係る規定の改正を行う。

土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部改正

「相模原市土砂等の埋立て等による土壌の汚染の防止に関する条例」へ改正

宅地造成等規制法の改正を踏まえた題名、目的に係る規定等の改正や土砂等の埋立て等の許可に係る規定の削除等を行う。

宅地造成及び特定盛土等規制法の施行等に関する条例の制定

宅地造成及び特定盛土等規制法が施行されたことを踏まえ、同法の施行について必要な事項等、所要の定めを行う。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

開発事業基準条例の一部改正

保証金の預託に係る規定等の追加

宅地造成及び特定盛土等規制法の施行等に関する条例の制定を踏まえた開発行為の許可を受けようとする場合における、保証金の預託に係る規定等の追加等を行う。

事業契約

(仮称)北部学校給食センター整備・運営事業

事業の場所：相模原市緑区大島1229番75ほか

契約金額：141億5,252万円

契約の相手方：株式会社相模原学校給食サービス

(仮称)南部学校給食センター整備・運営事業

事業の場所：相模原市南区古淵5丁目3153番ほか

契約金額：166億1,469万円

契約の相手方：株式会社さがみ南部給食センター

令和6年度一般会計補正予算(第5号)

補正額：21億9,300万円

障害児者介護給付費等 2億8,250万円

障害児者が障害福祉サービス等を利用した際に要する経費について、当初の見込みを上回ることから増額する。

障害児施設措置費・給付費 5億3,747万円

障害児が障害児入所施設又は障害児通所支援等のサービスを利用した際に要する経費について、当初の見込みを上回ることから増額する。

緑地等維持管理費、公園等維持管理費 1億4,121万円

緑地・公園におけるナラ枯れの被害を受けた樹木について、倒木や落枝による人的・物的被害のおそれがあることから、伐採等を行う。

特集

70年前の相模原市議会はこうだった!



令和6年8月1日発行のさがみはら市議会だよりNo.226で、昭和29年の市制施行時に市議会の事務局職員として在籍していた石井肇さんのインタビュー記事を掲載しました。みなさんお読みいただきましたでしょうか?

当時、石井さんとともに議会事務局の職員だった川崎洋子さんが、記事や写真をご覧になって連絡をください、お話を伺うことができました。(取材は、令和6年10月30日に市役所本庁舎で実施)



写真の一番左に写っている女性が川崎さんです。



昭和29年 市議会議員の集合写真(市制施行祝賀アーチ前にて撮影)

川崎 洋子さん(90歳)

相模原町役場に入庁後は、総務課や議会事務局などに配属。

市役所退職後は、民間企業で経理を担当したり、福祉施設でボランティアとしても活動。

中学時代から趣味として続けている俳句では、市民文化祭で受賞するなど、幅広い活動をされています。



左が川崎さん

町役場に入庁したきっかけは何だったのですか。

高校で学んだ簿記の知識を生かした仕事をしたいと思ったからです。高校は、ちょうど女子校から共学になった頃の上溝高等学校の商業科に通い、高校卒業後、町役場に入庁しました。当時、庁舎は上溝にありました。

どのような仕事をなさっていたのですか。

最初の配属先は総務課で、市制施行時は議会の事務局で働いていました。高校でタイピングを習ったこともあり、邦文タイピストとしての仕事を多く担当していました。議会の内容を記録する速記者によって書かれた文章を、大きなタイプライターで一文字ずつ打って、会議録を作成していました。

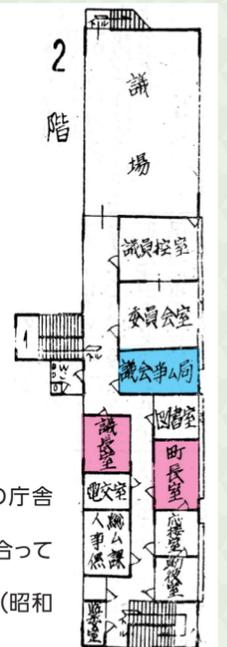
昭和29年4月に庁舎が上溝から現在地に移った後は、2階の廊下をはさんで議長室と町長室があって、町長にもお茶を出したことも覚えています。

仕事をしている中で、議会にはどのような印象がありましたか。

議会の中で、市の重要なことが決まっているという印象がありました。タイピストとして議案の内容を見る機会も多く、「議会ではこのようなことを考えないといけないのだな」と思っていました。



事務室でタイプライターを打つ川崎さん(川崎さん提供)



昭和29年4月移転当時の庁舎2階の平面図。議長室と町長室が向かい合って配置されています。(広報さがみはら第49号(昭和29年4月10日発行)より)



市制施行70周年を記念した式典を開催

令和6年11月20日に、市・市議会の主催により、市制施行70周年記念式典を市民会館ホールで開催し、多くの方のご参加のもと、節目の日を祝いました。

式辞の中で議長は、本市のこれまでの発展を振り返るとともに、市議会として、これからも市民の皆さんと連携しながら、本市のまちづくりのために力を尽くすことを誓いました。

式典ではそのほか、「さがみはら未来会議」として、30年後の相模原をテーマにパネルディスカッションを行いました。



さがみはら未来会議後の写真撮影

# 代表質問

代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容は、議会議中継(録画)などをご覧ください。

〈11月26日〉  
中村 昌治(自 民 党)  
森 繁之(さがみらい)  
岡本 浩三(公 明 党)

〈11月27日〉  
大沢 洋子(立 民)  
長谷川くみ子(颯 爽)  
こさわ隆宏(日本維新の会)  
羽生田 学(日本共産党)  
※個人質疑



## 職員定数を420人増やす改正増員の理由や今後の取組は

**Q** 定数7,830人を令和4年度から3年間維持していることの総括は。

**市長** 厳しい財政状況の中で、DX化の推進等による事務の効率化などによって定数の適正化を図る一方、特に重点的に力を入れる取組などの事業の推進に必要な人材を確保することで、総人件費の適正管理が図られていると認識している。

**Q** 増員理由の一つに掲げる「職場環境の改善」とは。

**市長** 増加傾向にある1年未満の育児休業や育児短時間勤務、部分休業のほか、メンタル疾患などにより休職している職員の代替を確実に配置できるよう、増員を図るものである。

**Q** 増員による人件費への影響は。

**市長** 420人を増員した場合、約20億円の増額を見込んでいるが、一方で、時間外勤務手当は約10億円の減額を見込んでいる。

**Q** 令和7年度から3か年にわたって420人を採用する見込みは。

**市長** 1年目に120人程度、次の2年間で各150人程度を予定しており、社会人経験者採用等を実施しながら確保に努めていく。

**Q** 学校に勤務する職員の定数を改正しない理由は。

**教育長** 少子化に伴う児童・生徒数の減少による教職員数の段階的な減少を見込んでいる。一方、近年は支援を要する児童・生徒が増加傾向にあり、引き続き、きめ細かな支援に必要となる教員数も見込んだ中で、現状の定数を維持することとした。

## 盛土等を規制する条例(※1)の制定 特色と既存の盛土等の扱いは

**Q** 他自治体の条例と比較した場合の、本市の条例案の特色は。

**奈良副市長** 大規模な盛土等に対し、工事の適正な施工を図るための保証金の預託に係る規定を設けているほか、災害防止や近隣住民等との相互理解を図るため、説明会の開催を義務付ける規定や自治会等との協定締結を努力義務化する規定を設けている。

**Q** 既存の盛土や切土への対応は。

**市長** 盛土規制法(※2)に基づく規制区域の指定以前から存在する盛土等に対しては、定期的なパトロールによる監視とともに、必要に応じ、盛土規制法に基づいて立ち入り検査等を行っていく。



盛土工事の様子

## 2つの学校給食センターを新設 PFI手法(※3)による契約内容は

**Q** 整備及び運営をPFI手法により実施するメリットは。

**市長** 施設の建設や維持管理、運営等を一括して発注することにより、民間事業者の専門的な知識やノウハウを生かした効率的かつ効果的な事業実施が図られ、良好なサービス提供や事業コストの削減が期待できるものと考えている。

**Q** 民間事業者が行う業務内容と施設の整備に必要な費用は。

**市長** 主な業務は施設の設計や建設、開業準備、維持管理、給食の調理、配送等である。北部と南部を合わせた整備費相当額は、物価上昇やZEB(※4)化の経費の追加等により、令和4年度に想定した約100億円から増額し、入札の結果、約125億円となった。

**Q** 全員喫食に向けた栄養士の増員や、地場農産物の活用は。

**教育長** 献立の作成や食材の調達等は市が行う業務で、これらの増加に伴う栄養士等の増員も必要と考えている。地場農産物の活用が図られる取組は、新たな給食センターでも検討していく。



(仮称)北部学校給食センターのイメージパース



(仮称)南部学校給食センターのイメージパース

## いじめの重大事態(※5)に係る調査 新たな附属機関設置の目的は

**Q** いじめ重大事態の件数と、その対応についての認識は。

**教育長** 令和4年度と昨年度が各1件、本年度は11月1日現在で1件である。4年度の重大事態では、学校や教育委員会で調査結果の取りまとめに時間を要するなどの課題があったと認識している。

**Q** 教育委員会とは別に、市長が再調査委員会(※6)を設置する理由は。

**市長** 国のガイドラインで、「十分な調査が尽くされていないと自治体の長が判断した場合などは、再調査を行う必要があると考えられる」とされていることから、調査委員会(※7)による調査が取りまとめられた後に対応できるよう設置するものである。

## 障害者施策の見直し及び転換 当事者からの声と事業進捗は

**Q** 重度障害者等福祉手当などの対象者へのアンケート結果は。

**市長** 令和6年10月末時点で1,182人から回答をいただいております。現在、内容を分析している。今後、分析結果を踏まえ、団体等からも意見を伺いながら、福祉基盤の整備に取り組んでいく。

**Q** 本年度内に予定している障害者福祉の基盤整備事業の進捗は。

**市長** 令和6年11月1日現在、障害者短時間雇用創出事業など、関連する追加事業を含め31事業を実施しており、さらに6事業の実施に向け取り組んでいる。今後も、当事者団体等との意見交換を継続しながら、着実に取組を進めていく。

**用語解説**

※1 条例 「相模原市宅地造成及び特定盛土等規制法の施行等に関する条例」のこと。

※2 盛土規制法 令和5年5月に施行された「宅地造成及び特定盛土等規制法」のこと。令和3年に熱海市で大規模な土石流災害が発生したことなどを踏まえ、宅地造成等規制法が抜本的に改正された。

※3 PFI手法 公共施設の建設等に民間の資金等を活用することで、効率的、効果的に社会インフラの整備等を行う手法のこと。

※4 ZEB 省エネ対策により一次エネルギー消費量を削減した上で、再生可能エネルギー等の導入によりエネルギー収支をゼロにすることを目指した建築物のこと。

※5 重大事態(いじめ防止対策推進法第28条第1項) いじめにより、児童等の生命、心身、財産に重大な被害が生じた疑いがあると認められる事象及び児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認める事象

※6 再調査委員会 「子どものいじめに関する再調査委員会」のこと。いじめ防止対策推進法第28条第1項の規定に基づく調査の結果について、市長からの諮問に応じて再調査し、その結果を答申する。

※7 調査委員会 「子どものいじめに関する調査委員会」のこと。令和4年度に発生した重大事態に関して教育委員会が諮問し、審議が行われている(令和6年11月時点)。



にしだ ゆうと  
西田 悠人  
(自民党)



Q 淵野辺公園の子育て応援改修事業のスケジュールと内容は

市長 令和6年度中にジョギングコースの改修を予定し、7年度は子ども達が飛び跳ねて遊ぶ「ふわふわドーム」の整備と、子育て世代が使いやすいトイレへの改修を計画している。

Q 出逢いから出産までの支援本市が検討している取組は

市長 現在、国が示した交付金メニューを参考に、若者が未来のライフイベントを具体的に考えるきっかけを提供する取組や、出会いの機会を創出する取組を検討している。

その他の質問 キャンプ淵野辺留保地整備計画/結婚後の支援など



たに がわ  
谷川 ヒロシ  
(さがみみらい)



Q 本市の民生委員の現状 担い手不足の状況と要因は

市長 令和6年12月1日現在、933人の定数に対し50人の欠員である。地域人材の掘り起こしの困難さに加え、担い手の中心である60歳代以上の方の就労機会の増大等が主な要因と考えている。

Q 難聴児に対する学校での支援 学習環境の整備や配慮状況は

教育長 小学校1校に難聴級を開設し、ワイヤレス補聴援助システムを授業等で活用している。通常の学級では、聞こえやすい座席の位置を配慮するなど、一人ひとりに寄り添った対応をしている。

その他の質問 災害対策など



民生委員の活動の様子

※アピランスケア がん治療により外見に変化が生じた方に対し、社会生活を送る上でつらさや不安を軽減し、その人がその人らしく過ごせるよう、社会とのつながりをサポートすること。

※統合型GIS 自治体が使用する地図データのうち、複数の部署が利用するデータ(道路、街区、建物、河川など)を共有できる形で整備し、利用していく庁内横断的なシステムのこと。



畜産業の様子

12月定例会

質

市政全般にわ  
ポイントを



議案以外  
に関する  
一般質問



うしろだ ひろみ  
後田 博美  
(公明党)



Q 乳がん患者へのアピランスケア(※) 乳房補整具の購入費の助成は

市長 がん治療をした方に対するアピランスケアは大変重要であると認識しており、先行自治体の取組状況や市民ニーズを踏まえ、今後、実施に向けた具体的な検討を進めていく。

Q 紙おむつの自動販売機 公園への増設や庁舎へ設置は

市長 子育て経験者へのアンケートでは、約半数が外出中におむつを忘れて困った経験があると回答している。今後は、設置している企業等の意向も伺い、設置に向けた検討を進めていく。

その他の質問 デフリンピックを通じた聴覚障がい者への支援など



にしな なつみ  
仁科 なつ美  
(立 民)



Q データに基づく施策検討に向け 統合型GIS(※)活用の考えは

市長 これまでも、人口増減などの統計データを基に施策検討を行っているが、地図上で分析することは大変効果があると考えており、データの集約方法などの課題の整理に努めていく。

Q 動物の不適正飼養への対応 改善に向けた指導の継続は

市長 市民から相談があった際には、職員が訪問し、改善策等を丁寧に説明している。周辺の生活環境が悪化し、再三の指導に従わない場合は、条例に基づく勧告等により対応していく。

その他の質問 市民に向けた地図情報の発信など



はぎうら たかひろ  
萩生田 康治  
(自民党)



Q 一者随意契約の事務負担軽減 上限額を引き上げるべきでは

市長 自治体の契約は、競争性、公平性及び透明性の確保を図る観点から、原則、入札としており、上限金額の引き上げは、社会経済情勢等を踏まえながらも、慎重に検討する必要がある。

Q ふれあい収集(※)のごみ出し支援 モデル事業からの全市展開は

市長 来年度に実施予定のモデル事業で、収集方法や見守り方法を検証しながら、収集件数や作業時間等を把握する。その結果を踏まえて、効果的かつ持続可能な実施体制を検討していく。

その他の質問 児童生徒の学習環境など

※ふれあい収集 ごみ出しが困難な高齢者世帯等から、戸別にごみを収集する事業のこと。モデル事業では、日常的に排出される一般ごみ及び資源ごみの収集を想定している。



はにゅう たかく  
羽生田 学  
(日本共産党)



Q 下水道使用料等の減免を廃止 生活保護世帯への負担軽減は

市長 急激な負担が生じないよう、1年間の経過措置を設けるほか、障害者や高齢者などは福祉減免制度の対象となる可能性を周知するなど、利用者に寄り添った丁寧な対応をしていく。

Q 飼料価格高騰で経営環境悪化 畜産農家への継続的な支援は

市長 飼料価格は、令和2年を基準とした場合、約40%増で推移し、厳しい経営状況が続いていると認識しており、本年度も国・県に対し、経済的な支援を要望した。

その他の質問 住宅確保要配慮者/学校給食での有機農産物等の活用など



まつうら ちづこ  
松浦 千鶴子  
(さがみみらい)



Q 学校と保護者を繋ぐ連絡手段 デジタル化に向けた取組は

教育長 学校と保護者との連絡の効率化に向けて、教育委員会では、デジタルツールに係る操作研修を実施するとともに、ICT支援員による訪問サポート体制の充実を図っている。

Q 交流深まる市民大会の開催等 モルック(※)を盛り上げる取組は

市長 スポーツ推進委員が中心となってモルック競技などのニュースポーツの普及啓発に取り組んでいる。今後は、より多くの市民が親しめるよう、市全体での普及促進に取り組んでいく。

その他の質問 不登校児童生徒の学びの場の保障など

※モルック 地面に並べて立てた複数の木のピン(スキットル)をめがけて「モルック」という木製の棒を投げて獲得した点数を競う、フィンランド発祥のニュースポーツのこと。



いわい だい  
岩井 大  
(日本維新の会)



Q 全国的な保育現場の人手不足 本市の保育士確保への取組は

市長 独自の処遇改善や専門コーディネーターによる再就職支援等を行っている。今後も、効果的な人材確保・定着に向け、養成校や保育現場等の意見を伺いながら、方策を検討していく。

Q 旧城山町が設置のごみ集積箱 処分等を行う場合の手続きは

市長 合併後の3年間は、経過措置として地域の意向に応じて市が処分等を行った。現在は利用者に行っているが、それぞれの事情等もあることから、個別に相談に応じている。

その他の質問 道路占用工事/バス停留所ベンチの設置など



山口 恒 (さがみらい)



Q もえぎ台小学校再編後の跡地 今後の地域対話の進め方は

市長 懇談会等を通じてこれまでにいただいた地域の思いをしっかりと受け止め、学校が地域で果たしてきた役割も踏まえながら、まずは市として、活用の考え方を本年度中に示していく。

Q 一般廃棄物最終処分場の延命 焼却残渣の更なる資源化は

市長 最終処分場の延命化には、より一層、埋立量の削減を図る必要があるため、これまでの取組に加え、焼却残渣から金属類の回収量を増やすための設備改良について、検討を進めている。

その他の質問 身近な市民サービスなど



もえぎ台小学校

※資格確認書発行 後期高齢者医療制度では、令和7年7月末までに限り、75歳到達や住所変更などにより有効な紙の保険証を持っていない方には、マイナ保険証を持っていても資格確認書を発行する。



大八木 聡 (自民党)



Q 子ども達が主体のスポーツ団体 施設利用を無料にする考えは

市長 金銭的な負担の軽減を図ることは、子どもが所属する団体への支援の一つになり得る一方、対象とする団体の子どもの割合や確認方法など、運用上の課題があると認識している。

Q 相模原駅北口地区まちづくり 複合型スタジアム構想への見解は

市長 週末を中心に多くの人が集まること等が期待される一方で、整備・運営に要する経費など財政への影響が大きいことや、周辺環境への影響等の課題もあると認識している。

その他の質問 市が情報を正しく保存・保管し、また適切に発信をするためになど



桜井 はるな (立民)



Q 後期高齢者医療制度における 資格確認書発行(※)の経緯は

市長 後期高齢者の中にはデジタル化に不慣れな方もおり、マイナ保険証への移行に一定期間を要するところがあることなどから、暫定的な運用として、資格確認書の発行が国から示された。

Q 相模大野ステーションピアノ事業 市制施行70周年記念の特色は

市長 女子美術大学等と、70周年をともに祝う事業として取り組んでいる。音符がきらめくクリスマスツリーと、森の動物たちが音楽でまちを照らす様子を表現したステージが特色である。

その他の質問 相模大野中央公園の在り方など

一般質問

たる、一般質問の 抜き出しました。

の市政全般 質問を と言うんだよ。

各議員の 氏名の下から 一般質問の録画 映像にアクセス できます。



鈴木 晃地 (日本維新の会)



Q ロムロムの滝(※)の噴水機能の停止 修繕の予定と施設の必要性は

市長 令和3年にポンプが故障したため稼働を停止しており、現時点で修繕の予定はない。朝・夕、主に学生の待ち合わせ場所になっており、このような憩いの空間は必要と考えている。

Q 障害者優先調達(※)の更なる推進 調達目標の設定方法は

市長 市が毎年度定める「相模原市障害者就労施設等からの物品等の調達の推進に関する方針」において、過去最も高額であった年度の実績額を上回ることとして、目標額を設定している。

その他の質問 公共施設LED化の推進など



ロムロムの滝

※ロムロムの滝 小田急相模原駅南口に設置している、水辺のあるポケットパークのこと。 ※障害者優先調達 障害者優先調達推進法により、地方公共団体は、障害者就労施設等の受注の機会の増大を図るための措置を講ずるよう努めることとされている。



佐藤 尚史 (自民党)



Q 営業目的の市有財産の貸出し 定額制導入による歳入確保を

市長 市は歳入確保や事務負担の軽減に、制作会社は申請から許可までの期間短縮に繋がるなど、双方にとってメリットがあることから、定額制の導入に向けた具体的な取組を進めていく。

Q 再編統合が定まっていない 藤野地区の診療所(※)の現状は

市長 利用者アンケートの結果や統合先となる藤野診療所の老朽化の状況等を踏まえ、既存の公共施設の活用や現在の診療所の改修など、再整備の手法について、比較・検討を進めている。

その他の質問 トカイナカへの移住・定住/津久井地域の消防力など

※藤野地区の診療所 国民健康保険日連診療所と市立藤野診療所のこと。



市立藤野診療所

※事案 令和3年に発生した、本市教員による同僚教員へのわいせつ事案のこと。 ※公表指針 「相模原市教職員の懲戒処分等の公表指針」のこと。



三須 城太郎 (さがみらい)



Q ギオンフィールド(※)の利便性向上へ フィールドとトラックの同時利用は

市長 安全性の観点から人工芝フィールドと陸上トラックを別々の団体が同時に利用することは行っていないが、今後、指定管理者とともに、利用者ニーズの把握や課題整理に努めていく。

Q 高齢者の運転免許証自主返納 安心して行える環境づくりは

市長 高齢ドライバーによる事故の減少に向け、環境を整えることは重要と考えている。返納者が様々な特典を受けられる県の制度(※)の周知とともに、制度の拡充を引き続き要望していく。

その他の質問 自転車事故の減少に向けた取組など

※ギオンフィールド 相模原ギオンフィールド(相模原麻溝公園第2競技場)のこと。 ※県の制度 神奈川県高齢者運転免許証自主返納サポート制度のことで、免許証を自主的に返納して運転経歴証明書を受けると、協賛事業所で購入商品の割引等の特典を受けることができる。



五十嵐 千代 (颯)



Q 駅に求められるAED配置 市内の未設置8駅への導入は

市長 協議会等を通じて鉄道事業者に要望し、「未設置駅への設置を検討している」との回答を得ていることから、早期に設置されるよう、あらゆる機会を捉え、引き続き要望していく。

Q 教職員の処分や公表の在り方 事案(※)を教訓に見直した内容は

教育長 懲戒処分の検討に当たり、より客観的な審議が図れるよう、令和6年1月に教職員考査委員会の委員構成を見直したほか、4月に公表指針(※)を改正し、失職事案も原則公表することとした。

その他の質問 同性カップルの住民票への続柄記載/今後の市の組織運営など

一般質問

12月定例会議



にしや かつみ 西家 克己 (公明党)

Q 「年収103万円の壁」見直し 代替財源の確保へ働き掛けは

市長 個人市民税の減少が大きく、行政サービスの提供に支障をきたす可能性があると考えており、要望等を行っている。引き続き、他自治体とも連携しながら、必要な対応を行っていく。

Q 道路・公園等の樹木や植栽 適正管理に対する市の認識は

市長 景観と調和した適切な維持管理が重要であり、ボランティア等による清掃など市民との協働を推進するとともに、市が行う剪定等の課題を整理し、良好な都市景観の形成に努めていく。

その他の質問 脱炭素社会の実現に向けた取組/若者の国際交流など



公園での剪定作業の様子



タブレットPCを使用した授業の様子



わたなべ としあき 渡部 俊明 (自民党)

Q 障害のある人も参加しやすい はたちのつどいの体制整備は

市長 本年度から様々な配慮について、障害者団体にも協力いただき周知している。来年度以降の運用も、当事者の意見も伺いながら、さらに参加しやすいものとなるよう取り組んでいく。

Q 小中学校における防犯カメラ 設置状況と今後の取組は

教育長 小学校では来校者を確認できる位置に設置し、警備会社への委託等で適切な管理に努めている。中学校では未設置が多く、今後は学校等と調整を図り、設置に向けた検討を行っていく。

その他の質問 さがみはらの魅力発信/自治会への支援など



の も と よ し み 野元 好美 (颯 爽)

Q 思春期世代の相談体制の充実 相模原版ユースクリニック(\*)の設置は

市長 現在、子育て支援センターにおいて、思春期の方々からの相談に応じている。今後も、思春期の方々の悩みに寄り添えるよう、より相談しやすい方法について検討していく。

Q 事業所の不適切な報酬請求 行政処分の対象になる認識は

市長 本事案(\*)は、不適切な請求だが不正請求には当たらないため、行政指導とした。他の基準等の視点で監査も行ったが、障害者総合支援法に規定する行政処分に当たる事由はなかった。

その他の質問 学びの多様化への対応など

※ユースクリニック 10~20代の若者が、身体や心の悩みなどについて、看護師等の専門家に無料で相談できる場所のことで、発祥はスウェーデンとされている。

※本事案 障害者総合支援法に基づく1回のサービス提供を、2社に分けて請求した案件



うすい たかひこ 白井 貴彦 (立 民)

Q 被災建築物の応急危険度判定 判定の流れと判定士(\*)の配置は

市長 大規模地震等の際には、マニュアル(\*)に基づき、被害状況等を踏まえ、あらかじめ地区ごとに配置した市職員の判定士が2人1組で、225か所ある第一優先判定建築物から順に判定を行う。

Q 学校の通信環境の設計に課題 端末導入当時の議論の内容は

教育長 端末導入の検討時においては、整った通信環境で通信が速く、通信制限もなく、通信費用も学校の規模を問わず1校当たり月額17,820円となることから、Wi-Fi端末を選択した。

その他の質問 相模原市人権尊重のまちづくり条例など

※判定士 応急危険度判定士のこと。建築士等の建築技術者で、あらかじめ講習を受けて登録をすることで、都道府県知事から認定される。

※マニュアル 本市策定の「応急危険度判定活動マニュアル」のこと。



すずき しゅうせい 鈴木 秀成 (さがみみらい)

Q 家庭ごみの有料化と戸別収集 本市での現在の検討状況は

市長 計画(\*)の中でそれぞれの施策を検討事項として位置付け、審議会(\*)において検討を進めており、導入の際に想定される効果や課題等について、様々な視点から議論いただいている。

Q さがみはら産業創造センター 市内産業に貢献した成果は

市長 企業のニーズや成長に応じた支援により、令和6年3月末時点で延べ252社が入居し、産学官連携での新産業創出や人材育成事業等を実施することで、地域経済の好循環を創出してきた。

その他の質問 麻溝台・新磯野地区整備推進事業など

※計画 第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画のこと。

※審議会 相模原市廃棄物減量等推進審議会のこと。

詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)をご覧ください。



各議員の氏名の下から一般質問の録画映像にアクセスできます。



かとう あきのり 加藤 明德 (公明党)

Q 小中学校等体育館の空調設備 全校整備の加速化への取組は

教育長 昨今の猛暑を踏まえると早期整備は喫緊の課題であり、現在、効果的・効率的な手法等の検討を進めている。引き続き、様々な制度を活用し、できる限り早期に進むよう取り組んでいく。

Q 引退選手をレジェンドアスリートに 認定制度を創設する考えは

市長 トップアスリートは、現役引退後も多くの人にとって憧れの存在と考えている。レジェンド認定は、選考基準等の課題もあるため、必要性を含め、顕彰の在り方を検討していく。

その他の質問 学校における水泳授業及び総合水泳場の取組など



すだ たけし 須田 毅 (自民党)

Q 相模大野中央公園の水景施設 今後の改修に向けての考えは

市長 地域の意見や、利用者からの声が多い「池を廃止してウッドデッキと水遊びの設備を設ける案」を中心に、子育て応援公園として、多くの子どもが楽しめる施設を検討していく。

Q 民設民営のアイススケート場 調査(\*)の進捗と今後の取組は

市長 整備候補地の抽出や事業収支のシミュレーション結果等をまとめる予定で、その後、ニーズ調査等の結果も踏まえ、事業者の参画の意向を確認した上で実現の可能性を検討していく。

その他の質問 空き家対策など

※調査 民間アイススケート場設置の実現可能性調査のこと。

陳情の審議結果

不採択

- ▷安全・安心の医療・介護実現のため、人員増と処遇改善を求めることについて(第13号)
- ▷政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求めることについて(第14号)
- ▷介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求めることについて(第15号)
- ▷臓器移植に関わる不正な臓器取引、移植目的の渡航等を防止するための法整備等を求める意見書提出について(第16号)
- ▷核廃絶に向けた意見書の提出を要請することについて(第17号)
- ▷女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求めることについて(第18号)

さがみはら市議会だより 録音版・点字版のご案内

活字のさがみはら市議会だよりを読むことが困難な方や視覚に障害のある方のために、録音版・点字版を発行しています。図書館や津久井地域のまちづくりセンター等に置いてあるほか、希望される方には郵送をしています。ご希望の方は、政策調査課(042-769-9803)へご連絡ください。

## 委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、様々な視点から審査されました。主な議案等に関する質疑事項は、次のとおりです。

### 総務委員会

#### 職員定数条例の一部改正

- 定数を増員する理由と市民にとってのメリット
- 採用試験の受験者数を増やすための方策
- 多様な職員が働きやすくなる職場環境の整備への見解

【賛成総員により可決】

### 民生委員会

#### 令和6年度一般会計補正予算(第5号)所管部分 ※障害児者介護給付費等、障害児施設措置費・給付費に関して

- 障害福祉サービス等の利用者増加の背景と、市が進める福祉基盤整備との関連
- 今年度行われた報酬改定の内容と補正予算への影響
- 市が事業所に対して行う運営指導の実施状況

【賛成総員により可決】

### 市民環境経済委員会

#### 令和6年度一般会計補正予算(第5号)所管部分 ※緑地等維持管理費、公園等維持管理費に関して

- ナラ枯れ対策費用を補正予算に計上し、繰越明許費設定を行う理由
- 伐採を行う箇所の優先順位と伐採した樹木の処分方法
- ナラ枯れについての周知方法や市民からの情報提供の受付体制

【賛成総員により可決】

### 建設委員会

#### ①宅地造成及び特定盛土等規制法の施行等に関する条例

#### ②開発事業基準条例の一部改正 (①と②は一括審査)

- 盛土に対するこれまでの規制内容との違い
- 既存の大規模盛土に対する監視体制等の強化
- 新たな条例において実施する中間検査等の実施体制を強化する考え

【いずれも賛成総員により可決】

### こども文教委員会

#### 事業契約((仮称)北部学校給食センター整備・運営事業)

#### 事業契約((仮称)南部学校給食センター整備・運営事業)

- 従来型の個別発注との比較における費用面での効果
- 地域経済への貢献に関する事業者からの提案内容
- 給食の提供だけでなく、災害対応等で施設を活用する考え

【いずれも賛成総員により可決】



## 12月定例会議 主な議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対

議案番号	議案	自民党	さがみみらい	公明党	立憲民主党	日本維新の会	颯爽	日本共産党	無所属	議決結果
市長提出議案										
第105号	職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
107号	市長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	×	×	○	可決
109号	附属機関の設置に関する条例及び非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正									
111号	土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部改正									
113号	宅地造成及び特定盛土等規制法の施行等に関する条例									
114号	開発事業基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
122号	非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正									
124号	事業契約((仮称)北部学校給食センター整備・運営事業)									
125号	事業契約((仮称)南部学校給食センター整備・運営事業)									
129号	令和6年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	×	×	×	○	可決
130号	令和6年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案										
第5号	市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	×	×	×	可決
6号	市議会個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※12月定例会議のその他の議案23件は、全会一致で可決・同意されました。議案審議の詳細は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

## 議会内会派の構成

(令和6年12月定例会議時点)  
(議員の氏名は50音順、( )内は略称)

<b>自由民主党相模原市議団(自民党)</b>	<b>14人</b>
秋本 仁 阿部 善博 大槻 和弘 大八木 聡 折笠 正治 佐藤 尚史 須田 毅 寺田 弘子 中村 昌治 西田 悠人 萩生田康治 古内 明 務川 慧 渡部 俊明	
<b>民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい)</b>	<b>9人</b>
石川 達 榎本 揚助 鈴木 秀成 関根雅吾郎 谷川ヒロシ 松浦千鶴子 三須城太郎 森 繁之 山口 恒	
<b>公明党相模原市議団(公明党)</b>	<b>8人</b>
後田 博美 大崎 秀治 岡本 浩三 加藤 明德 中村 忠辰 南波 秀樹 西家 克己 保々富美子	
<b>立憲民主党(立民)</b>	<b>5人</b>
臼井 貴彦 大沢 洋子 栗原 大 桜井はるな 仁科なつ美	
<b>日本維新の会相模原市議団(日本維新の会)</b>	<b>3人</b>
岩井 大 こそわ隆宏 鈴木 晃地	
<b>颯爽の会(颯爽)</b>	<b>3人</b>
五十嵐千代 野元 好美 長谷川くみ子	
<b>日本共産党相模原市議団(日本共産党)</b>	<b>2人</b>
今宮ゆうき 羽生田 学	
<b>会派に属していない議員(無所属)</b>	<b>1人</b>
小林たかみち	

### お知らせ

令和6年12月19日(12月定例会議最終日)の本会議終了後、日本共産党相模原市議団が会派を解消し、今宮ゆうき議員と羽生田学議員は無所属となり、会派は6会派となりました。

## 定例会議紹介ポスターデザインが決定

相模原市議会では、市民の皆様へ議会への関心を持っていただけるよう、ポスターを制作し、区役所、まちづくりセンター、公民館等の市内公共施設に掲出しています。

今年度も、女子美術大学の学生にデザイン制作を依頼し、市議会の各会派の議員で構成される広報委員による選考を経て、令和6年12月定例会議から令和7年9月定例会議まで、4定例会議分のデザインを決定しました。



「都市と自然がベストミックスな理由!」  
佐野かのんさん  
令和6年12月定例会議

「どこでも傍聴席になる!」  
平賀愛加さん  
令和7年3月定例会議

「相模原の未来をつくる。」  
並松和香菜さん  
令和7年6月定例会議

「スマホでも、どこでも!」  
安井怜奈さん  
令和7年9月定例会議

## 図書館で定例会議紹介ポスターの展示を行います!

幅広い世代に市議会への関心を持っていただくとともに、令和7年3月定例会議の開催をお知らせするため、図書館に特設コーナーを設け、定例会議紹介ポスターの展示を行います。ぜひご覧ください。

期間  
令和7年2月26日(水) ~ 3月14日(金)

場所  
市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館



# SAGAMIHARA CITY COUNCIL

## 令和6年度常任委員会 活動レポート

### 常任委員会とは

議会で審議する議案を、いくつかの部門に分けて詳しく審査するのが「委員会」で、相模原市議会では常に5つの委員会(常任委員会)を設置しているんだよ。今回は、次の3つの委員会の視察の様子を紹介するよ。

- 1 総務委員会**  
行政運営一般、シティプロモーション、財政、税金等の分野を審査
- 2 民生委員会**  
社会福祉、保健衛生等の分野を審査
- 3 市民環境経済委員会**  
市民生活、文化、区役所、産業、環境保全、公園、清掃等の分野を審査

### 総務委員会

## 広報戦略・観光戦略の取組等を視察

令和6年10月23・24日 堺市

戦略的広報の展開とそれを支える組織・運営システムの構築や、歴史文化資源が点在するエリアを広大なミュージアムに見立てた「屋根のないミュージアム“SACAY”」の実現に向けた観光戦略について調査研究を行いました。また、観光案内所を併設した百舌鳥古墳群ビジターセンターを訪問し、地域資源の認知度向上や観光案内の取組について、現地視察を行いました。

効果的な広報活動や観光振興に関する施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



堺市での視察の様子



### 民生委員会

## 中山間地域医療支援事業や認知症施策の取組等を視察

令和6年11月7・8日 浜松市、静岡市

浜松市では、中山間地域において移動診療車によるオンライン診療等を行う「医療MāãS」の実証実験等について、静岡市では、中心市街地に設置した認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」における、立地を生かした認知症の当事者と家族への支援や理解促進に向けた取組について、調査研究を行いました。

中山間地域医療や認知症に関する施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



浜松市での視察の様子



静岡市での視察の様子

### 市民環境経済委員会

## 6次産業化の取組や一般廃棄物最終処分場を視察

令和6年10月22・23日 宮城県白石市、福島県福島市

白石市では、農商工連携を核とした賑わい交流拠点「しろいしSun Park」の官民連携による一体整備等について、福島市では、令和6年度から本格稼働を始めた大館山一般廃棄物最終処分場の施設概要や整備に当たっての地域住民との合意形成等の状況について、調査研究を行いました。

産業振興や廃棄物処理に係る施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



白石市での視察の様子



福島市での視察の様子

### ハラスメント防止研修を実施

令和6年12月20日に、議員を対象とした「ハラスメント防止研修」を実施しました。

令和4年度、5年度に続いて3回目となる今回は、東京学芸大学教育学部の吉米地伸教授を講師にお招きし、「マイクロアグレッション」をテーマに、日常生活での会話において、自分では意識していない状態で相手を攻撃してしまう可能性があることなどを、事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

ハラスメントの根絶に向け、これからも市議会一丸となって取り組んでいきます。



研修の様子

### 議会広報に関するアンケートの集計結果をHPに掲載

令和6年8月から9月にかけて実施した議会広報に関するアンケートの結果を集計しました。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

掲載ページはこちらから



### 写真を募集しています!

フォトギャラリーとしてさがみはら市議会だよりに掲載する写真を募集しています。市内のお気に入りの風景等をご紹介します。ご応募お待ちしております!

応募方法 Eメールか郵送で、住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、政策調査課 (Eメール seisakuchousa@city.sagamihara.kanagawa.jp) へ (〒252-5277 中央区中央2-11-15 電話 042-769-9803) へ

#### 【注意事項】

- 応募者本人が相模原市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないものに限ります。
- Eメールの場合、1通の容量は11MB以内で送ってください。
- 採用された方には連絡を差し上げます。なお、ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
- 肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには相模原市議会は一切の責任を負いません。
- 掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ等で使用することができるものとします。



## さがみはらLOVE

### フォトギャラリー

「冬のお客さま」  
(緑区 青野原)

緑区 鈴木 明子さん

雪が降った日、外を見ると切り株の上に可愛い鳥さん。雪景色の中、オレンジ色したお腹が目立っていました。  
(令和4年2月の応募作品)

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)へお申し込みください。

相模原市議会の詳しい情報はコチラから → 相模原市議会

検索

※この市議会だよりは14万9,900部作成し、1部当たりの単価は10.67円です。

また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!